



平成 27 年 5 月 14 日

各 位

上場会社名 株式会社大泉製作所
 代表者 代表取締役社長 久保田 達夫
 (コード番号 6618)
 問合せ先責任者 常務取締役経理本部長 山崎 成樹
 (TEL 04-2953-9212)

特別損失の発生及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は平成 27 年 3 月期決算において、下記のとおり固定資産の減損損失を特別損失に計上するとともに、最新の業績動向を踏まえ、平成 26 年 5 月 14 日に公表いたしました、平成 27 年 3 月期の連結業績予想（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）を下記の通り修正しますのでお知らせいたします。

1. 固定資産の減損損失の計上について

当社は、当社中国子会社が東莞市に保有する固定資産（輸出用空調・カスタム部品生産設備等）について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を検討した結果、当該固定資産の帳簿価額を減損することとし、減損損失額 123 百万円を特別損失に計上いたします。

2. 業績予想の修正について

平成 27 年 3 月期連結業績予想数値の修正（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益	1 株当たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 11,814	百万円 295	百万円 176	百万円 116	円 銭 19.35
今回修正予想 (B)	12,021	36	△36	△241	△35.82
増減額 (B - A)	206	△259	△213	△358	
増減率 (%)	1.8%	△87.8	—	—	
(参考) 前期連結実績 (平成 26 年 3 月期)	11,878	△105	△259	△326	△56.96

3. 通期業績予測修正の理由

通期業績予想につきましては、売上高は空調・カスタム部品関連分野の売上が好調であったことから前回予想を若干上回る見込みであります。

営業利益および経常利益につきましては、施策として取り組んでおりました中国工場から国内およびタイ工場への生産移管が遅れたことにより、中国での高コストでの生産が継続する一方、タイや国内新工場の固定費が収益を圧迫したこと等により、前回予想を下方修正するものであります。また、当期純利益につきましては、「1. 固定資産の減損損失の計上について」に記載のとおり、減損損失 123 百万円を特別損失に計上したこと等により、前回予想を修正するものであります。

以 上